

区自治協議会提案事業 事業評価書

東区自治協議会

区 分	内 容
<p>テーマ・事業名</p>	<p>東区力・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち                      発災時の地域防災体制支援事業【事業費予算 689千円】</p>
<p>事業目的・概要</p>	<p>地震などの災害時において、地域内の連絡体制や、地域から区災害対策本部へ被災情報を伝達する体制を構築するため、地域コミュニティ協議会を対象にワークショップを開催し、構築した体制に基づき情報の伝達訓練を実施する。</p>
<p>事業の実施実績                      (実施回数、参加者数など)</p>	<p>○ワークショップ                      実施日 平成30年9月6日(木)                      会場 東区プラザ 多目的ルーム2                      実施内容 発災時の地域での情報収集方法等についてグループワーク形式で話し合う                      参加者数 54人(江南コミ協、中野山コミ協、東中野山コミ協、防災士)</p> <p>○情報伝達訓練                      実施日 平成30年12月4日(火)                      会場 東石山コミュニティハウス、東区プラザ 多目的ルーム1                      実施内容 発災時を想定した情報伝達訓練及びその振り返り                      参加者数 19人(東中野山コミ協、防災士)</p>
<p>事業の評価                      (地域課題の抽出方法や企画立案の評価、事業の公益性・実効性・効率性の評価など                      (期間延長を行う理由も記載))</p>	<p>○すべての地域コミュニティ協議会での実施とはならなかったが、多くの団体で連絡体制の構築及び情報伝達訓練に取り組めたことには意義があった。各地域コミュニティ協議会での訓練については必要であると考えられる。</p> <p>○地域全体での防災対応力を高めるため、平成31年度は自治会・町内会を対象に新たな事業に取り組んでいく。今後の取り組みに関して、各地域の特性を考慮した上での情報収集の手段や、携帯電話の通じない状況や夜間、豪雪時などの悪条件を想定した訓練の実施についても検討の余地があるのではないかと。</p>
<p>備考</p>	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区カ・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち じゅんさい池保全事業【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	じゅんさい池は現在、外来植物が繁茂し外来種の繁殖により従来の生態系が侵されている状況である。地域コミュニティ協議会や自治会、ボランティアなど地域の力を結集し保全に取り組むことで、自然公園じゅんさい池の再生を図る。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>○じゅんさい池西池 葦(ヨシ)刈取り作業 実施日 平成30年6月17日(日) 実施内容 じゅんさい池西池の葦刈取り作業 (水質浄化の働きがある葦を刈取り、植生を更新させる) 参加者数 約80人</p> <p>○じゅんさい池西池 園芸スイレン除去・ミシシippアカミミガメ駆除作業 実施日 平成30年10月21日(日) 実施内容 水面を覆い光合成を妨げる園芸スイレンの除去、環境省により緊急対策外来種に指定されているミシシippアカミミガメの駆除 参加者数 約70人</p> <p>○東区まちづくりセミナー「じゅんさい池と東区のまちづくり」 実施日 平成31年2月2日(土) 実施内容 第1部 基調講演「じゅんさい池 地元学の勧め」 第2部 パネルディスカッション 「これからの東区のまちづくりの姿」 参加者数 138人</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など (期間延長を行う理由も記載)</small>	<p>○これまで地元コミ協である東山の下地区コミュニティ協議会が取り組んできたじゅんさい池の保全について、東区全体で取り組むべく東区自治協議会提案事業として実施してきたが、園芸スイレンの除去とミシシippアカミミガメの駆除については単年度の事業で完了できる状況ではなく、継続した事業の実施が必要である。</p> <p>○平成31年2月にセミナーを実施し、これまでより東区全体でのじゅんさい池に対する関心を高めることができた。来年度は区だより等を活用した活動の周知も検討し、課題解決に向け、より多くの区民と事業に取り組んでいきたい。</p> <p>○「協働の要」である自治協議会の提案事業として、行政と地域全体で活動に取り組んだことに意義があった。この事業での取り組みが新潟市全体の環境保全への関心を高めるきっかけとなしてほしい。</p>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区カ・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち 東区めぐり子どもバスツアー【事業費予算 300千円】
事業目的・概要	東区内の特色ある施設を実際に訪れ、見て学び体験することにより、東区の魅力の再発見と東区に対する愛着を深めることに繋げる。 また、他校の児童との交流により、子どもたちが社会性を育む機会を提供する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	【日 時】平成30年8月21日(火) 午前9時～午後5時 【参加者】小学4～6年生 39名(男子12名、女子27名) 【見学先】新潟新幹線車両センター、東区役所、北陸重機工業(株)、 山の下関門排水機場、航空自衛隊新潟分屯基地
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<ul style="list-style-type: none"><li>・定員を上回る多くの申込みがあり、参加した小学生へのアンケートでも満足度は89%であり、大変好評であった。</li><li>・例年より女子児童の参加が多く、性別にかかわらず楽しめる内容で実施することができた。</li><li>・学校では学び切れない地域の魅力や特色ある施設が東区にはたくさんあり、より一層の魅力発信が必要であると考えたため事業を継続して行うこととしたい。</li><li>・来年度継続して実施するにあたり、これまで実施してきたバスツアーの反省等を踏まえ、見学時間や訪問先の数等を再検討する必要がある。</li></ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区カ・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち 地域で取り組む健康・長寿事業【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	(1)地域での交流を促すとともに、健康を意識した生活を送るためのきっかけづくりを行うことを目的に、健康寿命延伸に向けた取り組みの柱である「運動」、「減塩」、「健診受診」をテーマにした体験型の講座を開催する。 (2)閉じこもりがちな高齢者と若い世代の人たちとの交流の機会や健康づくりの場を提供することを目的に、世代間交流イベントを開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	(1)健康講座「めざせ健康長寿！みんなで運動 みんなで減塩」の開催 【日時】①平成30年10月23日(火) 会場:中地区公民館 ホール ②平成30年11月14日(水) 会場:木戸コミュニティセンター 集会室 ③平成30年11月20日(火) 会場:石山地区公民館 ホール ※時間はいずれの日も午前9時30分～11時30分 【参加者】66名(①21名 ②25名 ③20名) 【内容】簡易測定(骨密度、血管年齢、血圧)、体操、講話、減塩食体験  (2)世代間交流イベント「東区あったかふれあいまつり」の開催 【日時】平成31年3月17日(日) 午後2時～4時30分 【会場】東区プラザ ホール 【参加者】300名 【内容】越後勢龍太鼓(航空自衛隊新潟分屯基地 太鼓部) 新潟弁でラジオ体操(新潟市運動普及推進協議会東支部) クラウンパフォーマンス(ひまわり&ねんじ) 吹奏楽演奏(木戸中学校吹奏楽部) お楽しみ抽選会 昔の遊び体験(木戸きずな会)
事業の評価  (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	(1)健康講座「めざせ健康長寿！みんなで運動 みんなで減塩」 ・運動普及推進協議会や食生活改善推進委員協議会などの協力を得ながら、内容の濃い事業を実施することができ、参加者の満足度は高かった。講座での体験を今後、運動・減塩を心がけるきっかけにしてもらえるといい。 ・地域ごとに少人数で開催したことで、参加者同士の交流が生まれ、また、健康のために日頃心がけていることなど、地域の実情も把握することができた。 ・健康寿命延伸に対する関心は高まってきているが、簡単な運動や減塩の大切さをより多くの方に知ってもらえるよう、興味が持てるような企画内容やPR方法を検討し、回数を重ねて実施していくことが大切である。  (2)世代間交流イベント「東区あったかふれあいまつり」 ・世代間交流となるよう協議を重ね、子どもからお年寄りまで幅広く楽しめる内容で構成することができた。 ・家族や知人からの紹介による参加もあるため、事業の実施にあたっては、対象者への周囲からの声かけも重要である。
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区カ・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち 東区の農産物魅力発信事業【事業費予算 1,000千円】
事業目的・概要	東区の農産物について、新潟県立大学生や新潟市食生活改善推進委員協議会から協力を得ながら、東区の農産物を使ったレシピの考案や各種PR活動を行う。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"><li>・東区の馬鈴薯を使った料理アイデアコンテストの実施 対象: 県立大学の学生 応募作品数: 55作品 入賞作品数: 最優秀賞 1作品・優秀賞 5作品・JA新潟市特別賞 2作品</li><li>・東区区民ふれあい祭りでのPR 開催日: 平成30年7月16日(月・祝) 内容: 馬鈴薯の小芋掴み取り 料理アイデアコンテスト入賞作品の紹介</li><li>・にいがた市民環境フェアでのPR 開催日: 平成30年9月29日(土) 内容: 料理アイデアコンテスト入賞作品の紹介</li><li>・料理アイデアコンテスト入賞作品を活用したレシピ集の制作 制作部数: 7,000部 配布先: 区内の行政施設やスーパーマーケット等</li></ul>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など 期間延長を行う理由も記載)</small>	<ul style="list-style-type: none"><li>・料理アイデアコンテストでは、馬鈴薯の産地である大形地区にある県立大学の学生を対象とすることで、産地の若い世代への周知を図ることができた。 また、料理アイデアを活用してPRに繋げることができた。</li><li>・各種イベントへの出展では、料理アイデアを活用してPRすることで、東区産馬鈴薯の周知を図るとともに、消費にも繋げることができた。</li><li>・馬鈴薯を中心に東区の農産物をPRしてきたが、単年度の取り組みでは区民に広く浸透したとは言い切れず、更なる周知のために継続したPRの必要がある。 また、東区には馬鈴薯の他にも、やわ肌ねぎや越後姫などの特産の農産物があるため、併せてPRするために事業を継続して行うこととしたい。</li></ul>
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区力・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち 東区の産業カレンダー制作事業【事業費予算 700千円】
事業目的・概要	東区の産業の写真等を用いたカレンダーを制作し、区内の小・中学生を中心に配布することで東区の産業の魅力を発信する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	東区産業風景カレンダーの制作 制作部数: 10,500部 配布先: 区内の小・中学生及びコミュニティ協議会
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	・一年を通じて身近に掲示するカレンダーを媒体に選んだことは非常に有効だった。 また、カレンダーに使用した産業風景フォトコンテストの受賞作品は素晴らしい写真が揃っていて、カレンダーをめくる楽しみがあり、同時に掲載した産業の豆知識も、東区のことを知ってもらうために非常に有効だった。 なお、配布する範囲については、小・中学生のみとしたが、写真を活用したコンテストの受賞者の方々や一般の区民など、もっと幅広く配布できれば、より効果的な発信ができたのではないかと。
備考	

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

## 東区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	東区力・活用プロジェクト【事業費予算 5,000千円】のうち 東区の工業の魅力発信事業【事業費予算 1,184千円】
事業目的・概要	平成29年度自治協提案事業の「東区産業史発掘事業」で制作した映像「東区の工業」をさらに活用するため、多くの人が利用している東区バス松崎ルート of バス車内にモニターを設置し、「東区の工業」を上映する。 また、その他東区を紹介する映像等も併せて上映し、東区の魅力を発信する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	○東区バス「松崎ルート」へのモニター設置 ・東区の工場魅力を発信することを目的に、区バス車内にモニターを設置し、平成29年度自治協提案事業で制作した映像の「東区の工業」を上映する。 また、平成26年度自治協提案事業で制作した映像の「東区へようこそ」等も併せて上映し、東区魅力を広く発信する。
事業の評価 <small>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</small>	・東区バスは幅広い世代の人が定期的に利用しており、多くの人に繰り返し見ってもらうことで、東区の工業魅力を認識してもらえる機会ができた。 また、イベントの告知や区を紹介する映像も上映するなど、より一層のモニターの活用が期待できる。 今後は、映像を小学校で活用してもらうための検討や、区バスと同様に幅広い世代の人が来庁する東区役所への映像設備の設置など、PRの場を増やしていく必要がある。
備考	